

左岸線2期工事立ち止まれ

建設港湾委員会 寺戸月美議員が力説

寺戸月美議員は14日の

建設港湾委員会で、建設

中の高速道路・淀川左岸

線2期事業などについて

質問しました。

同事業は2020年11

月、工事現場で判明した

土壌汚染対策などで、総

事業費が当初の1162

億円から756億円増

加。今回、一部の区間で

地盤改良工事の影響に伴

う工法変更で、さらに1

千億円増加すると判明し

ています。

寺戸氏は、同事業は淀

質問する寺戸議員は14日、大阪市議会建設

港湾委員会



響が出る恐れがあるだけに、住民にしっかり説明するよう求めました。

また2025年の大阪

・関西万博のアクセスル

ートにするため、工事を

前倒ししたことが、総事

業費の巨額の上振れを招

いたのではないかと指

摘。「事業そのものにつ

いて、いったん立ち止ま

って必要性を議論すべ

き」と主張しました。

15日の同委員会では夢

洲のカジノ用地の土壌対

策費約790億円を、大

阪港湾局が所管する港営

事業会計から支出する問

題などで質問しました。

同局が「(夢洲の)土地

に起因するものであり、

土地所有者として負担す

る」と答弁。寺戸氏は、

港湾の埋立事業本来の目

的からはかけ離れた支出

だと反論し、きっぱりや

めるよう求めました。

川左岸堤防内にトンネル

を通すという世界的にも

前例のない工事で、計画

段階から採算性や安全性

の問題が指摘されていた

と強調。他の区間でも影